

LUNA の利用実績とお知らせ	1
LUNA の活用事例紹介	2
LUNA 新機能の紹介	6
講演会・ワークショップ開催報告	7
お知らせ	8

＝第9号発行にあたって＝

2015年10月からLUNAの新機能として「Webレスポンスシステム」が導入されました(詳細は6頁をご覧ください)。レスポンスシステムは、教室内での教員と受講生との双方向のやりとりを補助する道具です。これまで、「クリッカー」と呼ばれる専用機器をセンターでは貸出・運用してきました。今回の新機能は、同様の機能をLUNAに統合し、教員・受講生はスマホやPCを使ってアクセスするようになっています。

あらかじめ、問題や選択肢を準備しておく必要がありますが、専用機器を必要としないので、誰でも気軽に利用できるのが特長です。集計結果も即時に表示することができます。また、選択肢を選ぶだけでなく、テキストを打ち込ませる自由回答形式の出題も可能です。LUNAを経由して履修者情報とひも付けたやりとりも可能ですし、学内IDとは無関係に回答を募ることもできます。

授業導入時のアイスブレイク、講義中の理解度確認、自由回答での意見聴取など、さまざまな利用の仕方が期待されます。LUNA本体と同様に、教育改善の道具として、利用される皆様方のアイデアやご意見をお聞かせ願えれば幸いです。

高等教育推進センター副長(高等教育推進センターニュースレター編集長) 中野 康人



### ◆ 2014年度のLUNAの利用実績は昨年度を上回りました

2014年度の利用実績の集計を行いました(下表)。

指標項目	指標の定義	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
1 LMSを利用する授業科目の比率	全開講科目数(大学・当該年度)に対するLUNAを利用する科目の比率。(LUNAを利用するとは「お知らせ・教材・掲示板など」に教材や記事が掲載されている科目とする。)	12.2%	34.6%	35.7%	38.7%	40.4%
2 LMSを利用する専任教員の比率	全専任教員に対するLUNAを利用する専任教員の比率。(LUNAを利用する専任教員とは「お知らせ・教材・掲示板など」を利用している科目がひとつでもあることとする。)	53.9%	59.4%	60.9%	69.8%	73.5%
3 LMSを利用する学生の比率	LUNAにアクセスした学部学生数÷在籍学生数(学部) (1回でもLUNAのページにアクセスしたらカウントする)	65.8%	85.9%	89.0%	92.0%	92.5%

LUNAを利用する授業科目の比率は40.4%、専任教員の利用率は73.5%、学生の利用率は92.5%と、すべて項目で過年度の実績を上回ることができました。

### ◆ LUNAサポートでは以下のサービスを提供しておりますので、ご利用ください

- ◎電話・メールサポート…電話やメールにてお問い合わせをいただければ、サポートします
- ◎出張サポート…研究室に直接訪問し、サポートします。個人、複数いずれでも対応します
- ◎来室サポート…高等教育推進センター事務室へ来室いただければ、その場でサポートします
- ◎学生向け説明会…先生に代わってLUNAの操作方法のオリエンテーションを行います
- ◎ハンドブック…教員向け・学生向けがそれぞれあります
- ◎LUNAサポート…LUNA内に詳細なマニュアルを掲示しております



### ◆神学部 東よしみ先生のご活用事例◆

- LUNA を使っている科目  
⇒全科目（うち成績管理以外も利用は、基礎演習 C、新約聖書入門 I）  
【クラス規模】20～50名 【配布物】多い
- LUNA を使用するようになった経緯  
⇒アメリカの大学にいたころに LUNA のオリジナルである Blackboard を使っていた。関学にも同じ LMS があると同僚の先生から聞いたので着任当初から使用している。

## 学生に公開できる「成績表」は便利 教材管理はわかりやすく構成

### 便利な「成績管理」機能 学生自身が成績を確認できるように点数を公開しています

- 「成績管理」をカスタマイズし学生に OPEN にできるところが便利

成績列、加重合計列など授業の進行に合わせて構成し、授業で行う“小テスト”、“中間テスト”、“期末テスト”の点数と出席点（数値）、それらの加重合計（%）を学生へ公開し、LUNA の成績表で評価がわかるようにしている。

- 学生が成績を確認する習慣づけ

学生が成績表を見る習慣はとても重要と考えている。学生が常に成績表を確認する習慣づけとして、テストを紙ベースで行い、学生に「必ず自分の成績があっているかどうか毎回確認するように」と指示。万が一、間違っていれば、学生が持参した答案を元に再入力する。毎回確認させることで、学生に**自分の現在の総合成績が何%なのかを常に確認させることができる。**

The screenshot shows a table with columns for student names, Quiz 2, Intermediate Test, Quiz 6, Classwork, Homework, Attendance, and Total Grade. Callouts explain: '集計対象の列の作成' (Creation of columns for aggregation) for '小テスト合計' and '総合成績'; '列の作成' (Column creation) for adjusting scores; and '点数、出席は数値、総合成績は%で表示' (Scores and attendance are numerical, total grade is shown as %).

氏名(漢字氏名)	氏名(名)	Quiz2	中間テスト	Quiz 6	小テスト	宿題テスト	出席	総合成績
...	...	100.00	85.00	100.00	1000.00	...	100.00	94.88%
...	...	100.00	65.00	0.00	780.00	--	90.00	74.57%
...	...	0.00	4.00	80.00	740.00	--	90.00	63.00%
...	...	100.00	72.00	100.00	980.00	--	100.00	87.14%
...	...	...	...	100.00	940.00	...	100.00	88.88%
...	...	...	...	0.00	0.00	...	0.00	0.00%
...	...	...	80.00	...	...	...	...	60.00%
...	...	100.00	...	100.00	...	...	...	99.14%
...	...	100.00	...	100.00	...	...	...	88.71%
...	...	100.00	...	100.00	...	...	...	87.14%
...	...	100.00	...	100.00	980.00	...	100.00	85.00%
...	...	100.00	...	100.00	880.00	...	100.00	94.88%
...	...	100.00	63.00	100.00	880.00	...	100.00	79.00%

\* この点数は実際の点数ではありません

### TA が操作できるという機能がとても便利

現在は小テストの点数入力や教材掲載は TA が行っている。TA が操作できることはとても重要で、教員の作業時間が減りその分、学生指導の時間を増やせるため便利。

## 「教材・課題・テスト」画面は見やすい構成を心掛けています

“レジュメ”、“資料”、“Quiz”でフォルダ分けをし、学生が休んだ時や振り返りをしやすいように、フォルダをあけたらすぐに教材が見つけれダウンロードできるように見え方を工夫。



スマホ世代には少ないクリック数で  
目的の資料に到達が必須！

### 【使用して良かった点】

- 成績を OPEN にしているので、学生が自分の成績を確認しながら勉強に取り組める。
- 教材を LUNA にアップしているのでもいつでも学生が閲覧できる。
- TA が操作できる。小テストの点数入力、教材掲載をしてもらっている。
- 成績を LUNA で一括管理しているのでも、個人で保管するより安心感がある。

### 【課題】

**メール機能の強化** LUNA から直接学生とメールのやり取りができないのが非常に不便

### ご要望・他に利用してみたい機能は？

- **掲示板機能**  
他の学生が提出した課題が見られる。学生同士がお互いに学びあえ、成績管理と連動できるので興味がある。
- **テスト機能**  
自動採点できる小テストを利用したい。すぐに成績管理に連動され、点数入力の手間が省けるので興味がある。
- **学生向けの LUNA のオリエンテーションをしてほしい。**  
基本的な LUNA の使い方や資料の添付が出来ない学生がいるので、1 年生には行ってほしい。

ここでご紹介させて頂いた機能は LUNA サポートにマニュアルがございますので、ぜひご活用ください

(LUNA サポート→左側のメニューの「LUNA の操作方法【教員用】」)

- ☆成績管理▶11.6 成績管理に新しい列を作成する、11.7 加重合計列の利用、11.11 成績評価を設定する、
- ☆掲示板▶13. 掲示板機能
- ☆テストの作成▶10. テスト/アンケート機能



### ◆経営戦略研究科 加藤雄士先生のご活用事例◆

- ・ LUNA を使っている科目  
⇒ 組織管理、経営財務論、経営学  
【クラス規模】～20名 【授業形態】講義系 【教材配布】多い
- ・ LUNA で利用している機能  
⇒ お知らせ、教材の配布、掲示板

### ◆授業時間外での「学びの場」として、お知らせ、教材配布、掲示板を活用しています。

LUNAにアクセスすれば、授業外学習に取り組めるように、お知らせ、教材配布や掲示板を利用して情報を提供しています。履修生に社会人が多く、掲示板は投稿内容を口外しないルールで運用しています。

教育機関 科目 すべて表示

## お知らせ

**経営学の掲示板は使用し続けることが可能です(ご質問へのお返事)**

提出先: 2015年6月5日 11時19分28秒 JST

投稿者: 加藤 雄士 カトウ ユウジ(KATO YUJI)  
投稿先: 経営研/経営学 1 (2015春前・土・1土・2)

経営学を履修していただいたみなさんへ  
こんにちは。

第2QIに向かって、新しい科目に標準を合わせて、  
気合いの入っている頃と思います。

管理サイクルを回して学習してください。  
必ず統制をしてください。

他の科目でも体系的な視点でノートを作成してみてください。  
また、

行間を空けて、読みやすく、  
重要度の高いものを掲載。

お知らせは履修生にメールでも連絡  
することができます。

## 教材・課題・テスト

**4/16木曜日 大還元時代**

添付ファイル: img-418085549.pdf (4.652 MB)

こういう記事も目を通し続けると  
会計大学院の様々な科目とつながり  
生きた学習になるかと思えます。

講義内容に関連する新聞などの  
タイムリーな情報を即時に掲載。

**本日の小テストを題材にして学びましょう。Aさん、Bさんの回答から。**

添付ファイル: img-418132958.pdf (1.696 MB)

本日の小テストを題材にして学びましょう。  
Aさん、Bさんの回答を使い学んでみたいと思います。  
△さんの回答について、

講義後に補足を掲載。

## ◆履修生同士が活発にコミュニケーションを取り、授業外学習に取り組んでいます。

**掲示板**  
掲示板は複数のフォーラムから構成されます。フォーラム内では話題をスレッドという単位で一連の投稿・返信として確認を行うことが可能です。詳しいヘルプ

フォーラムの作成

フォーラム	説明	総投稿数	未開封の投稿	総参加者数
<input type="checkbox"/> 経営学の受講生と教員のためのフォーラム 経営学の受講生と教員のためのフォーラムです。 受講生の方は講義での気づきや発見や自宅学習での気づきや発見などをどしどし書き込んでください。 またご質問があれば書き込んでいただいても良いです。 他の受講生が質問に回答してもよいです。 どんどん発展させていきましょう。	136	136	10	
<input type="checkbox"/> 課題の書き込みのフォーラム このフォーラムでは、講義の中で指示した課題を書き込むフォーラムとして活用してください。 受講生が自由に何でもかけるフォーラムとは分けさせてください。 混合してしまうと、採点等に手間取るからです。 なお、課題に対して気づいたりしたことを他の受講生がスレッドで返すことはしていただいてもよいです。 ではよろしくお願いします。	346	346	17	
<input type="checkbox"/> 学生だけの交流のためのフォーラム 学生だけの交流のためのフォーラムです。教員は参加しません。 お好きなように活用してくださいね。 講義終了後も使えるかと思しますので、前向きに有効に楽しくご活用ください。	30	30	9	

授業外学習のためのフォーラム。  
履修生の投稿に対して、教員だけではなく履修生同士でも意見交換を行っています。

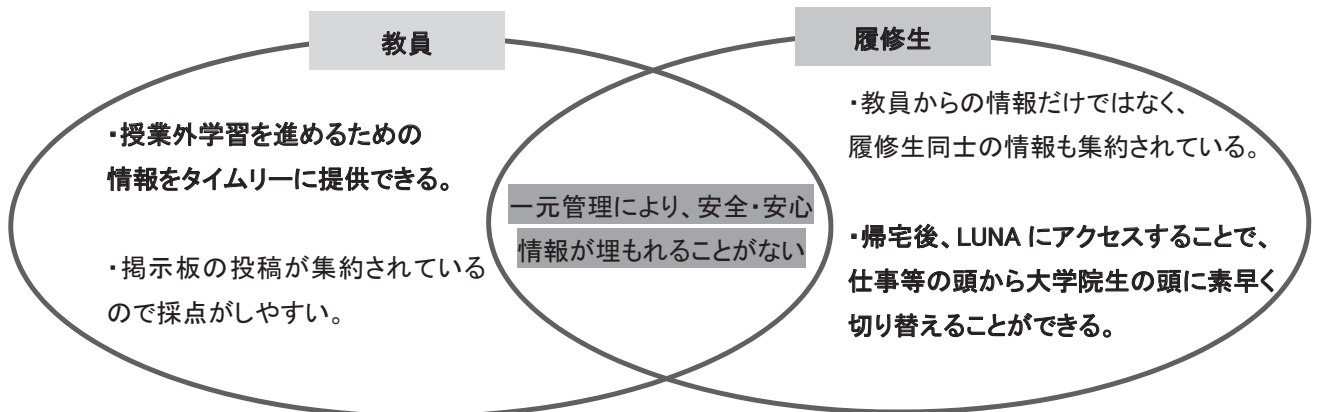
提出された課題について、教員だけではなく履修生同士で意見交換を行っています。

採点対象のフォーラムとして設定し、提出した課題、他の履修生の課題に対しての投稿を合わせて、採点しています。

履修生同士のフォーラム。「学びの場」になっているかチェックしています。

学生だけのフォーラムを学びの場にするために  
・投稿内容を口外しない等、運用上のルールを周知徹底。  
・教員も閲覧し、創造的な「学びの場」になっているかをチェックをしています。

## 【メール、SNS でのコミュニケーションを LUNA へ変更して良かった点】



ここでご紹介させて頂いた機能はLUNAサポートにマニュアルがございますので、ぜひご活用ください  
(LUNAサポート→左側のメニューの「LUNA の操作方法【教員用】」)

☆お知らせ ➤ 5.1.お知らせの作成方法(編集・削除) ☆教材 ➤ 6.1.教材(コンテンツ)の作成  
☆掲示板 ➤ 13.3.1.フォーラムの作成、13.4.1.スレッドの作成、13.5.2.スレッドの内容の確認と返信、13.7.採点

# LUNA に新機能登場

## Web レスponsシステム

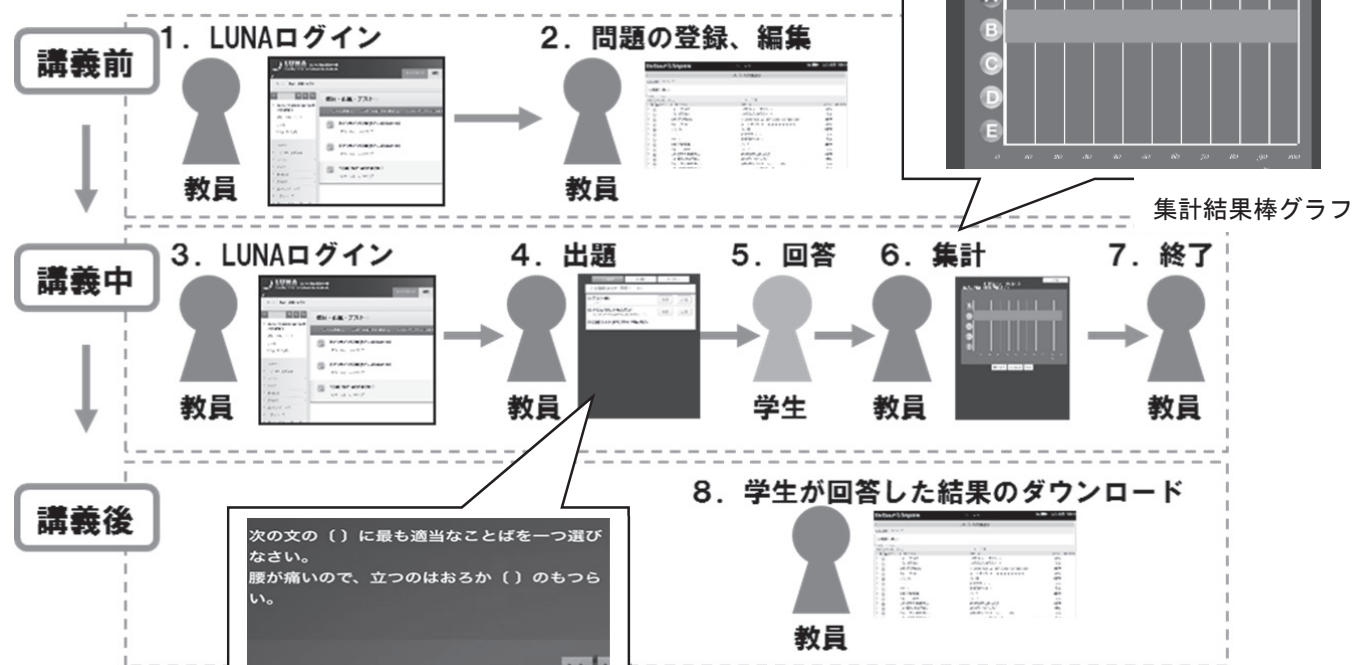
スマートフォンやタブレットを使って、学生参加型の授業をしてみませんか？

＜「Web レスpons」とは＞

教員と学生のリアルタイムな双方向コミュニケーションを実現し、アクティブラーニング（学生の主体的・能動的な学びを引き出す教授法）を支援するクリッカーシステムです。

予め登録しておいた問題（選択・記述式）を出題し、学生は手持ちのスマートフォンやタブレットのウェブブラウザから解答を送信することができます。送信された解答は、即時に集計され、結果を表示することが可能です。

＜利用の流れ＞



出題中の学生画面

＜動作環境＞

PC	Windows	Internet Explorer 11
	Mac	Safari 8.0.6
スマートフォン	iOS/Android	—

- ・LUNA と連携しているので、履修者登録など細かい設定は不要です。
- ・授業だけでなく講演会や説明会等、LUNA の ID をお持ちでない方もご利用いただけます。
- ・詳細は LUNA サポート内にマニュアルを掲載していますので、そちらもご確認ください。

\* 個別サポートも実施しております。

詳細は、下記までお問い合わせください。  
 教務機構 高等教育推進センター LUNA サポート  
 内線: (61)31336 電話: 0798-54-7420  
 Eメール: LUNA-support@m1.kwansei.ac.jp

## FD に関する講演会—2015 年度新任教員研修—

開催日時：2015 年 4 月 4 日（土）9 時～ 15 時  
 講師：平林 孝裕氏（高等教育推進センター長）

本学に新たに着任した教員を対象とした、新任教員研修が 4 月 4 日に開催されました。

村田治学長より、「関西学院大学の教育目標」についての講演をはじめ、教務機構、研究推進社会連携機構、大学図書館より各制度・業務についての説明があり、午後からは高等教育推進センター主催の LMS（LUNA）講習会と FD に関する講演会「『授業に関する調査』結果からみる本学の教育状況について」が開催されました。

FD に関する講演会では、平林高等教育推進センター長より、前年度に実施された授業調査の結果報告書をもとに、本学学生の学習時間や授業の満足度についての分析を説明しました。

また本学では、教員個人の FD 活動を推進するだけでなく、提供部署単位での FD 活動や全学的な FD 活動を推進していることを紹介し、参加者に積極的協力が依頼されました。講演終了後に実施したアンケートからは、「話がおもしろく、自分も頑張らねばと励まされた」、「よりよい授業を提供できるように努力したい」等、前向きな意見が多く寄せられ、FD について更なる意欲を感じさせる有益な講演会となりました。



## FD ワークショップ：大学教員のための『講義方法のブラッシュアップ』A

開催日時：2015 年 9 月 10 日（木）～ 11 日（金）  
 講師：倉茂 好匡氏＜滋賀県立大学理事兼副学長（教育・学生支援担当）＞

このワークショップは、「関西地区 FD 連絡協議会初任教員向けプログラム」との共催事業として開催をしています。

本ワークショップは、専任教員、非常勤講師及び大学で講義担当を目指す博士後期課程の大学院生等を対象にしたものです。2 日間のプログラムですが、1 日目のみ、2 日間連続参加の選択が可能で、チョークの持ち方や発問の仕方、発声法、グループワークの取り入れ方等、授業の基本的な運営方法について実践を交えながら学びました。

参加者数は初日が 24 名（関西学院大学から 11 名、関西地区 FD 連絡協議会加盟校等から 13 名）、2 日目が 18 名（関西学院大学から 8 名、関西地区 FD 連絡協議会加盟校等から 10 名）でした。

9 月 10 日（木）

講義「基本の基本」  
 講義「授業展開で陥りやすい罠」  
 ワークショップ「教材研究」

9 月 11 日（金）

講義「発問法、アクティブラーニング」  
 グループワーク「授業の完成」  
 授業発表会



（講義の様子）

なお、ワークショップ終了後に実施したアンケートでは、参加者より以下のような感想をいただきました。

- 発問の仕方・グループワーク・個人ワーク等のアクティブラーニングの実践方法が参考になった。
- 大学では教材研究が熱心には行われていないが、その必要性を感じた。
- チョークの持ち方を習ったことがなかったため、大変参考になった。
- 参加者の講義実演が当初のものから変化していったことに感激した。

## 『2時間でポイントをおさえる！アクティブラーニングの理論と実践』

- ◇日時：2015年11月25日（水）17:00～19:00（受付16:30～）
- ◇会場：西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂2階ラウンジ
- ◇講師：岩崎 千晶氏（関西大学准教授）
- ◇定員：15名（先着順）
- ◇対象：大学・短期大学の教職員
- ◇申し込み方法  
HighEdu@kwansei.ac.jp へ、件名を「アクティブラーニング申し込み」として、以下の内容を明記の上お申し込みください。（11月23日（月）締切）  
①名前 ②所属 ③連絡先（E-mail アドレス）

## 『インストラクショナルデザインに基づくシラバス作成ワークショップ』

- ◇日時：2015年12月18日（金）13:00～17:00（受付12:30～）
- ◇会場：西宮上ヶ原キャンパス 大学院1号館102号教室
- ◇講師：寺嶋 浩介氏（大阪教育大学准教授）
- ◇定員：15名（先着順）
- ◇対象：関西学院大学で2016年度の授業を担当する教員（専任、非常勤等）で、インストラクショナルデザインやシラバスについて学びたい方
- ◇事前課題：ワークショップで利用しますので、担当科目1科目を本学所定のフォーマットでシラバスを作成してください。受講日当日にプリントアウトの上、1部ご持参ください。
- ◇申し込み方法  
HighEdu@kwansei.ac.jp へ、件名を「ID ワークショップ参加申し込み」として、以下の内容を明記の上お申し込みください。（12月15日（火）締切）  
①名前 ②所属 ③連絡先（E-mail アドレス）

## お知らせ

## 2015年度「学生による授業に関する調査」について

本学では、2005年度から統一的な方式で、全学的に学生による「授業に関する調査」を実施しています。2015年度春学期の実施率（マークシート方式）では99.0%（2014年度春学期99.5%）であり、多くの先生方のご協力によりほぼすべての授業で実施されました。

また、2012年度より実施しましたWebによる調査方式では、Webの対象科目のうち学生からの回答があった科目は全体の44.3%（2014年度春学期52.1%）となりました。

本調査の目的は寄せられた評価や意見をもとに、授業担当者が次年度以降の授業内容や授業方法の改善に取り組むことや、授業環境について組織的な改善に結びつけることです。（各学部・センターのFD活動の一例は高等教育推進センターホームページの「各学部のFD活動」をご覧ください。）

秋学期も引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## ◇秋学期の実施スケジュール

<マークシート方式>

2015年12月7日（月）～12月11日（金）[予備期間：12月14日（月）～12月18日（金）]

<Web方式>

2015年12月7日（月）～2016年1月12日（火）

※実施要領・実施科目等の詳細につきましては、11月中旬に各授業担当者にご連絡致します。

## 高等教育推進センターニュースレター

2015年11月1日

発行：関西学院大学教務機構高等教育推進センター

TEL：0798-54-7420 FAX：0798-54-7421

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

<http://www.kwansei.ac.jp/cephe/index.html>

ご意見、ご感想、情報等をお寄せ下さい。寄稿も歓迎致します。✉ HighEdu@kwansei.ac.jp